

2022 年度 織田きもの専門学校

学校関係者評価報告書

(令和 4 年度)

評価対象期間

2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日

織田きもの専門学校

学校関係者評価委員会

1. はじめに

2022年（令和4年）4月1日～2023年（令和5年）3月31日を評価対象期間とした自己点検評価報告をもとに織田きもの専門学校学校関係者評価委員会を開催いたしましたので、ここにご報告いたします。

本校が社会およびきもの業界に対して高い価値を提供すべく、より良い教育を目指すため、委員の皆様にご評価とご意見をお伺いいたしました。学校関係者評価の結果を踏まえ、学校運営の更なる改善と教育の質向上に努めて参ります。

開催日：2023年5月1日（月）15：00～16：30

会場：織田学園第8校舎 グリーンホール

2. 学校関係者評価委員（敬称略）

氏名	所属	役職等	種別
山野 晴雄	多摩地区高等学校進路指導協議会	顧問	有識者委員
上乘 幸喜	株式会社 三松	取締役	関連業界 企業役員
椎橋 優華子	しいばし商店	店主	関連業界 卒業生

3. 自己評価に対する学校関係者評価委員の評価方法

学校より自己評価の各項目について関連資料を交えて報告と説明を行い、自己評価の評価点（適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切・未実施…1）が適切か適切でないかを学校関係者評価委員3名よりそれぞれ評価をいただいた。

4. 自己評価に基づく学校関係者評価

【1. 教育理念・目標・育成人材像】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
理念・目標・育成人材像は、定められているか。	4	適切 3名
学校における職業教育の特色が明確になっているか。	4	
各学科の教育目標・育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか。	4	
学校の教育理念に沿った①アドミッションポリシー ②カリキュラムポリシー ③ディプロマポリシーを設定または改訂できたか。	4	

<ご意見・評価等>

○学校案内・HPで織田きもの専門学校の強み、目指せる職業などを明記している点が評価できる。

○3つのポリシー(アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー)についてもHPで公開されている点は評価できるが、ディプロマポリシーの「きものの縫製、着装…の基礎を十分に修得したか」は「修得している」に変えたほうが良い。

○SDGsというワードを加えると尚良いように思う。きものは、リメイクが利き、同じきものを親から娘、孫へと着回しができる。また、着用の際の写真等を通して、より家族の絆が深まり情操教育にも通ずるのではないか。

○どの業界も同様と思うが、人材育成には数年はかかるとされる。根気よく続けることの大切さ、それによる喜びや達成感、世界が広がることも伝えていただきたい。

【2. 学校運営】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
教育理念・目標に沿った運営方針が策定されているか。	4	適切 3名
外部関係者の評価(学校関係者評価委員会)を有効に活用できたか。	4	
入学定員は適正に設定されているか。	3	
効果的な教育成果を得ることを目的として教育課程の見直しがされたか。	3	
各種検定の合格率向上のためカリキュラムの再確認及び改訂が行われたか。	3	
外部企業等に強い外部講師等は有効に活用できたか。	4	
コラボ企業や就職先等から教育ニーズを聴取したか。	3	

情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	4	
----------------------------	---	--

<ご意見・評価等>

- 企業人外部講師と連携してカリキュラムを見直していくこと、企業と連携したコラボレーション授業の実施は今後も続けていっていただきたい。
- 「きものを作る技術だけでなく、知識の向上も図っていく」ことが課題とされているが、これはディプロマポリシーと関連させてカリキュラムの改善を図っていただきたい。
- DX は十分進んでいて体制を維持していくと報告書にはあるが、DX はどんどん進化していきますので体制維持ではなく発展させていくべきと考える。感性が最も優れている世代である学生はビジュアルに敏感と考えるので、校内にスタジオを併設し着用した作品をSNS、HP 等で発信することも独自性を出せて良いのではないか。

【3. 教育活動】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか。	4	適切 3名
教育カリキュラムは体系的に編成されているか。	4	
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立って、カリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4	
実践的な職業教育（産学連携教育、インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか。	4	
授業評価を実施し、その評価体制はあるか。	4	
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか。	4	
教員間で様々な悩みについて共有できる職場環境であったか。	4	
教員の研修・自己啓発は促進できたか。	4	

<ご意見・評価等>

- 教員研修は個々の教員の自己研修だけでなく、学校として計画的に進めていただきたい。
- 授業評価は学生が教員の授業に対して評価し、授業の質の向上を図るための材料となるので継続していただきたい。
- 参加型、体験型学習で成長が感じられるところが特に良いと考える。
- 既に実施されているかもしれないが、悉皆屋の見学、体型に合わせた各寸法の割出し(細かく)、その変化による着姿の変化などもカリキュラムに加えると、就職後に役立つと考える。

【4. 学修成果】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
生活支援の充実化は図れたか。	4	適切 3名
教育支援の充実化は図れたか。	4	
就職支援の充実化は図れたか。	4	

<ご意見・評価等>

- 少人数制であるメリットを活かしてきめ細やかな指導に努めていただきたい。
- コロナ禍に対する学生への支援などは志望学生にとってのアピールになると考える。
- 企業とのコラボレーションで作品を販売という記事があった。参加した学生が売れる喜びを知る。モノ作りから商品提供へそしてお客様の感動を生む。やりがいとなり成長へと繋がる。積極的に多くの企業と機会を設けて取り組むと良い。体験が大きな飛躍のバネになるはずである。将来は、駅ビル、ファッションビル等でPOPアップショップ開催も視野に入れてはどうか。
- 就職に注力している点を評価する。

【5. 学生支援】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
退学率の客観的数値(前年度比較)は改善したか。	2	適切 3名
学生のメンタルヘルス対応は積極的に取り組めたか。	3	
卒業生への支援体制はあるか。	3	
学生情報の教職員間での共有は効果的に行えたか。	4	
保護者との連携は適切だったか。	3	

<ご意見・評価等>

- 保護者との協力体制、カウンセリングの充実、教員間での情報共有などをより進め、少しでも退学者が減るように努めていただきたい。
- メンタルケアは最近の教育界だけではなく、日本の大きな課題だと思われる。特に着物に興味を持つ学生の中には、一人で黙々と作業することが得意な学生も多いと思われる。彼らは業界的には、大変有望な人材である。特に、織子・和裁士・染士、悉皆に適していると考えられる。メンタルケアが手厚いことは、保護者も安心でき、学生本人も一時避難できる場所があることで、退学を免れるのではないかと。より良い整備を願う。
- 卒業生には、就職相談できることを知らない人が多いと思われる。業界から去る人が多いので、ぜひ広く周知していただきたい。

【6. 教育環境】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
卒業生・在校生・学校間のネットワーク構築への取り組みについて進捗・改善は見られたか。	4	適切 3名
施設・設備は、教育の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	3	

<ご意見・評価等>

- 教育設備の充実については学生からの要望も踏まえて検討していただきたい。
- 防災のための備蓄品を確保されているのは良いことであり、加えて毎年の点検も引き続き行っていただきたい。
- 生徒一人ひとりが授業に打ち込める環境がベースである。生徒の増減で環境が変わることがあってはならないので見直しを推奨する。
- ここ最近では地震が多いこともあり、防災訓練などを開催してはどうか。

【7. 学生の受け入れ募集】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
OC 参加者の増加は達成できたか。	3	適切 2名
OC からの取り込み率は向上できたか。	3	
学生募集における学校の訴求ポイントについて広報と協議の上で決められたか。	4	
広報物の訴求の一貫性を図れたか。	4	
広報物の制作にあたり、学校と広報とで意見交換が図られたか。	4	
広報担当スタッフとの連携を強化できたか。	4	
OC 時の参加者対応スキルの向上は図れたか。	4	
OC の結果等の分析や、コース内容のブラッシュアップ等について学校と広報とで十分な意見交換ができたか。	4	
SNS 等、学校の認知 PR は適切に行えたか。	4	

<ご意見・評価等>

- HP、SNS など情報発信を適切に行っていることは評価できる。オープンキャンパスも学生の協力を得て実施されているとのことで問題はない。
- 高校訪問を定期的に行い、高校教員への認知を得る努力、校内ガイダンスへの参加などの取り組みも引き続き積極的に取り組んでいただきたい。

○都内では数少ないきもの専門学校であることを就職実績含め、前面に押し出してPRしていく必要がある。

○高校生の受け入れ以外にも、ファッション系を中心に、大学生・短大生の進学先の選択肢になると良い。

○簡単ではないが、一部の授業(例えば、被服・着付け・材料学・コーデ・デザインなど)を OBOG・社会人・大学生なども履修できるようにしていただきたい。現に、卒業から時間が経て、必要なのに忘れていた知識や今だからこそ学びたいこと、学び直したいことがある。学生増加が見込みにくいのであれば、学生以外からも学費を集めることも大事だと思います。卒業生の再就職などにも活用できると思われる。

○海外留学生の受け容れを積極的に行うことはどうか。きもの専門学校でありながらも多様性に富んでいる学校と入学検討者に受け止められる。一定数留学生を確保できれば国内の入学者も増え相乗効果に繋がるのではないかと考える理由として、海外におけるアニメブームが背景にあり、「和」に興味を持つ若年層が増えていることを挙げる。特に日本文化との親和性の高いイギリス、フランス、イタリア、アメリカ、オーストラリア、中国、韓国、シンガポール、タイ、ベトナム、インドネシア等である。また今後の中野エリアの開発が進むことが見込まれていることから、より世界への発信材料が揃っていることも利点になると考える。(不適切と判断した)

【8. 財務】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
経営感覚の教職員間での共有は図れたか。	3	適切
財務改善への取り組みは推進できたか。	4	3名

<ご意見・評価等>

○財務情報がHPに公開されていることは評価できる。

○入学者を増やすことと合わせて退学者を減らす努力を教職員一丸となって進めていただきたい。

○まずは、応募者数が定員を上回り、優秀な学生が学校を卒業し活躍することで知名度が上がりますのでそのサイクルを作ることで収益に繋げることを目指していただきたい。そのためにも話題性、他校にはない強みを打ち出し、入学者数を確保することに邁進していただきたい。

○限られた財源と少ない先生方で、色々と工夫されている点を評価する。

【9. 法令等の遵守】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
コンプライアンス意識を再確認できたか。	4	適切
自己評価の結果を公開しているか	4	3名

<ご意見・評価等>

- 年々情報公開が充実してきており、適切な学校運営が行われている。
- 報告書にあるように情報公開がコンプライアンス重視の基本であると考える。

【10. 社会貢献・地域貢献】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
地域や地方公共団体と連携し、受託等を積極的に実施しているか。	4	適切 3名

<ご意見・評価等>

- 中野区の地域イベントに参加し、地域貢献を行ってきたことが伝わる。今後も継続して、情報発信のひとつにもなることに期待する。
- 縮小傾向にあるきものの産地とのコラボレーション等もあると、その土地にも活力が生まれると考える。取り組んでいないのであれば、是非検討していただきたい。
- 祭りなどの際に、高校生らに向けて、浴衣の着付けを学生がする(有料)ことで、学生の着付け力向上と地域貢献につながったら良いと思った。

【11. 国際交流】

評価項目	自己評価	学校関係者評価
留学生受入れ、学習・生活指導等について適切な体制が整備されているか。	2	適切 3名

<ご意見・評価等>

- 海外メディアに対してきものの魅力を発信する機会があれば、積極的に参加していただきたい。
- さらに認知度向上に向けてグローバルな活動を期待する。

5. 総評

○東京では数少ないきもの専門教育を行っている学校としてきもの魅力を積極的に情報発信し、業界と連携して人材育成を図っていただきたい。

○きもの分野を希望する高校生は少ないが、浴衣姿で街を歩く若者もいる。きものイベントなどに積極的に参加することで、多くの人にきもの魅力を再確認してもらう機会を作り、少しでも入学者確保に努めていただきたい。

○ある産地の方の話では、元引きこもり(程度は不明)の方が、織元に織子として就職されて、大変活躍されていると聞いた。

一人で黙々と作業ができる集中力、織機の音が大きいので社交性の不要さで、適職だったようである。人と接することが苦手な学生の受け入れは、とても大変だと思うが、業界的にはとても大切な人材だとも思う。いろんなタイプの学生の受け入れのご苦労は想像以上と思うが、多様性に富んだ若者の未来を活かしてあげる場所になってくれることを期待する。

○私が業界の方のご紹介で、ある芸能人の着物管理で就職しました。退職した後、ご紹介くださった方から、和裁が出来るしあなたみたいな人が欲しいので、知り合いの卒業生を紹介してほしいと言われました。

○私が以前、着物管理職として就職した際、後任の紹介を頼まれたことがある。私と同じ和裁のできる人材を求めている、知り合いの卒業生を紹介してほしいとのことだった。着物の知識を広く学べる御校を卒業したからこそ、頂けた言葉だと思っている。

○本人と職場の相性はあると思うが、自身の知る限りにおいては、雇用側から御校の卒業生は評価をされているようである。先生方の努力が学生に響いていると思われる。厳しいこともあると推察するが、御校の未来に期待している。

○少子化が進む中、選ばれる専門学校として「ファッション」「和」をキーワードにグローバルな展開を進め、世界に通用する優秀な学生を輩出していただきたい。

○伝統を大切にしながらも、きものという文化を現代に合った形で継承していこうと努力されている姿勢が伝わってくる。卒業生としても織田きもの専門学校で学べて良かったと感じる。

織田きもの専門学校
学校関係者評価委員会